



2021年6月28日

各位

会社名 株式会社ビューティガレージ
代表者名 代表取締役CEO 野村 秀輝
(コード番号:3180 東証第一部)
問合せ先 経営管理グループ統括責任者 齋藤 高広
(TEL. 03-6805-9785)

(訂正・数値データ訂正)「2021年4月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

当社は、2021年6月11日に発表しました「2021年4月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」について、記載内容の一部に訂正すべき事項がありましたので、下記のとおり、お知らせいたします。

記

1. 訂正の理由

「2021年4月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の開示後、連結計算書類を作成する過程において、記載内容の一部に訂正すべき事項が判明したため、訂正するものであります。

2. 訂正の内容

訂正の箇所を下線を付して表示しております。

以上



2021年4月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年6月11日

上場会社名 株式会社ビューティガレージ 上場取引所 東
 コード番号 3180 URL <https://www.beautygarage.co.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役CEO (氏名)野村 秀輝
 問合せ先責任者 (役職名)経営管理グループ統括責任者 (氏名)齋藤 高広 (TEL)03(6805)9785
 定時株主総会開催予定日 2021年7月29日 配当支払開始予定日 2021年7月30日
 有価証券報告書提出予定日 2021年7月30日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年4月期の連結業績 (2020年5月1日~2021年4月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年4月期	19,597	24.6	1,000	37.0	1,079	44.5	650	59.3
2020年4月期	15,730	13.6	730	16.2	747	15.6	408	7.1
(注) 包括利益	2021年4月期		674百万円 (69.2%)		2020年4月期		398百万円 (4.7%)	

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年4月期	103.42	-	15.2	12.5	5.1
2020年4月期	64.48	-	10.5	10.6	4.6

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年4月期	10,032	4,722	45.4	724.79
2020年4月期	7,283	4,102	55.0	629.36
(参考) 自己資本	2021年4月期 4,559百万円		2020年4月期 3,993百万円	

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年4月期	859	△623	97	2,572
2020年4月期	133	△175	67	2,212

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年4月期	-	-	-	10.00	10.00	63	15.5	1.6
2021年4月期	-	-	-	14.00	14.00	88	13.5	2.1
2022年4月期(予想)	-	-	-	16.00	16.00		12.6	

3. 2022年4月期の連結業績予想 (2021年5月1日~2022年4月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	10,846	29.6	515	46.0	513	41.9	315	59.9	50.22
通期	23,061	17.7	1,301	30.1	1,304	20.9	795	22.5	126.52

【訂正前】

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 有
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規4社（社名）株式会社ビュートピア、株式会社日本アイラッシュ総研※注、MATSUKEN VIETNAM CO., LTD、株式会社和楽

除外—社（社名）—

※注 株式会社松風と株式会社まつげエクステンション研究所は2021年4月1日付で合併し、株式会社日本アイラッシュ総研となりました。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | | |
|----------------------|---|---|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : | 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : | 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : | 無 |
| ④ 修正再表示 | : | 無 |

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年4月期	6,376,000株	2020年4月期	6,376,000株
② 期末自己株式数	2021年4月期	84,670株	2020年4月期	63,580株
③ 期中平均株式数	2021年4月期	6,284,846株	2020年4月期	6,327,570株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染拡大により緊急事態宣言が3度発出され、それに伴い経済活動の自粛等の影響により、企業の業績や景況感が悪化し非常に厳しい状況で推移しました。

美容業界におきましても、コロナ禍での活動制限や外出自粛等による顧客の不安心理増大に伴う来店数減少や結婚式や成人式等ハレの日需要の減少といった厳しい状況が続きました。

そのような状況下、当社グループでは、期初は業界全体の厳しい状況からマイナス影響を受けてはいたものの、競争力強化に伴い顧客基盤が大きく拡大したことやWEBマーケティング施策の成果に加え、コロナ禍のなかで業界流通のデジタル化が加速したこともあって、通期では業績を大きく伸長することが出来ました。

この結果、当連結会計年度における売上高は19,597,064千円（前年同期比24.6%増）、売上総利益は6,115,566千円（前年同期比28.1%増）、営業利益は1,000,435千円（前年同期比37.0%増）、経常利益は1,079,705千円（前年同期比44.5%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は650,003千円（前年同期比59.3%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

①物販事業

物販事業におきましては、インターネット通販サイト「BEAUTY GARAGE Online Shop」、全国主要都市のショールーム&ストア+法人営業チーム、カタログ通販誌「BG STYLE」および各グループ会社を通して、理美容機器や化粧品・消耗品等のプロ向け美容商材を、国内外の理美容室、エステサロン、リラクゼーションサロン、ネイルサロン、アイラッシュサロン向けに提供しております。

当連結会計年度におきましては、ECサイトのUI/UXの着実な改善と進化を継続することに加えて、第2物流拠点となる西日本ディストリビューションセンターの開設、化粧品・美容材料専門店「ビューティガレッジEXPRESSストア」のオープン等の投資を実行し、アクティブユーザー数の増加と利用頻度向上施策に注力してまいりました。また新型コロナウイルス感染拡大の中、美容業界全体で遅れていたデジタル化が促進した影響もあって新規会員獲得数や注文件数、ECサイトへのアクセス数も大きく増加致しました。

この結果、EC売上高が前年同期比33.1%増（物販売上構成比78.2%）と伸長した貢献が大きく、物販事業全体としての売上高は15,591,648千円（前年同期比30.0%増）、セグメント利益は780,020千円（前年同期比27.5%増）となりました。

②店舗設計事業

店舗設計事業におきましては、連結子会社である株式会社タフデザインプロダクトにより東京・金沢・名古屋・大阪・福岡において店舗設計・工事施工管理を提供しております。

トレンドを捉えたデザイン性の高い店舗設計デザインの提案を行うことで独立開業を目指す顧客から高い支持を得ており、新規開業顧客に加えて、大手チェーン店本部からの受注も獲得してまいりました。当連結会計年度におきましては、期初より新型コロナウイルス感染拡大の影響で美容サロン等の新規出店の中止・延期が相次いでいたことで、案件数が大幅に減少しておりましたが、第2四半期以降においては、前年を上回るペースで回復し、特に第4四半期は大型案件を多数受注出来たこともあり、四半期売上高で過去最高を記録することが出来ました。

この結果、当事業の売上高は3,391,717千円（前年同期比4.5%増）、セグメント利益は213,608千円（前年同期比12.0%増）となりました。

③その他周辺ソリューション事業

その他周辺ソリューション事業におきましては、ビューティサロンの開業と経営に必要なサポートとして開業プロデュース、居抜き物件仲介、決済支援、集客支援、講習・アカデミー、損害保険、システム導入支援、店舗リース、M&A仲介等の各種ソリューションサービスを、各種専門WEBサイトと全国主要都市のショールームを通して提供しております。

当連結会計年度におきましては、美容サロン事業者に特化した年会費無料のビジネスカード「サロンプロフェッショナルカード」を発行いたしました。各種サービスのうち、店舗リース、居抜き物件仲介、決済支援が堅調に伸長したことにより、当事業の売上高は613,698千円（前年同期比24.8%増）、セグメント利益は81,736千円（前年同期比79.3%増）となっております。

(2) 当期の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて29.9%増加し、7,795,241千円となりました。これは、主に現金預金、売上債権及びたな卸資産の増加によるものであります。

(固定資産)

固定資産は、前連結会計年度末に比べて74.4%増加し、2,237,608千円となりました。これは、新規連結子会社ののれんの計上及び有形固定資産の増加があったことによるものであります。

(流動負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて60.7%増加し、4,096,549千円となりました。これは、主に仕入債務、前受金、1年内返済予定の長期借入金の増加によるものであります。

(固定負債)

固定負債は、前連結会計年度末に比べて91.9%増加し、1,213,331千円となりました。これは、主に長期借入金の増加によるものであります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて15.1%増加し、4,722,969千円となりました。これは、主に自己株式の取得による減少36,094千円と配当金の支払に伴い利益剰余金の減少63,124千円があったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴い利益剰余金の増加650,003千円があったことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ359,971千円増加し、2,572,182千円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、859,209千円（前年同期は133,641千円の資金増加）となりました。これは、主に売上債権の増加、たな卸資産の増加及び法人税等の支払額があったものの、税金等調整前当期純利益の計上、減価償却費の計上及び仕入債務の増加があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、623,051千円（前年同期は175,681千円の資金減少）となりました。これは、主に有形固定資産の取得による支出、無形固定資産の取得による支出及び連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、97,906千円（前年同期は67,779千円の資金増加）となりました。これは、主に借入債務の返済による支出及び自己株式の取得による支出があったものの、長期借入れによる収入があったことによるものであります。

(4) 今後の見通し

今後の美容業界におきましては、新型コロナウイルスの影響継続が見込まれることから、引き続き厳しい状況が予想されます。その一方、業界全体で一層のデジタル化の促進が見込まれ、当社グループとしても成長を大きく加速させる好機となってくるものと考えております。

そのような見通しの中で、当社はBtoB美容業界向けECプラットフォームとしての圧倒的な地位を確立することで、2025年4月期までに「国内美容ディーラーTOPの地位を獲得する」ことを目指してまいりたいと考えております。

2022年4月期は、ECサイトのUI/UXのさらなる進化・改善を進めていくとともに、物流面、営業面、サービス面等の一層の強化を行うことでロイヤル顧客の拡大と一顧客あたりの年間ご利用額の増加を目指してまいります。

以上により、2022年4月期の連結業績予想につきましては、売上高23,061百万円（前年同期比117.7%）、営業利益1,301百万円（前年同期比130.1%）、経常利益1,304百万円（前年同期比120.9%）、親会社に帰属する当期純利益795百万円（前年同期比122.5%）を見込んでおります。

なお、上記に記載した将来に関する記述につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて判断したものでありますが、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(5) 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引先等であるため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年4月30日)	当連結会計年度 (2021年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,212,210	2,586,132
受取手形及び売掛金	1,067,317	1,817,123
リース投資資産	139,650	165,991
営業投資有価証券	154,521	195,265
商品及び製品	1,756,880	2,114,278
仕掛品	111,734	188,126
前渡金	297,590	474,736
その他	268,650	267,068
貸倒引当金	△8,265	△13,481
流動資産合計	6,000,291	7,795,241
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	159,903	231,286
機械及び装置（純額）	40,312	48,680
車両運搬具（純額）	1,749	5,092
工具器具備品（純額）	54,971	56,174
リース資産（純額）	4,547	10,223
土地	38,099	171,353
有形固定資産合計	299,585	522,812
無形固定資産		
ソフトウェア	271,962	316,099
のれん	94,396	458,356
その他	3,806	29,224
無形固定資産合計	370,165	803,681
投資その他の資産		
投資有価証券	103,060	81,351
繰延税金資産	128,023	226,675
敷金保証金	341,456	555,791
その他	40,843	47,296
投資その他の資産合計	613,383	911,115
固定資産合計	1,283,134	2,237,608
資産合計	7,283,425	10,032,850

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年4月30日)	当連結会計年度 (2021年4月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,176,474	1,835,958
短期借入金	15,000	10,000
1年内返済予定の長期借入金	283,316	382,108
未払金	188,925	286,437
未払法人税等	192,241	340,732
前受金	187,747	447,159
賞与引当金	57,748	68,751
製品保証引当金	8,052	12,319
受注損失引当金	7,116	6,959
株主優待引当金	3,300	3,300
株式報酬引当金	20,149	69,426
その他	408,636	633,397
流動負債合計	2,548,707	4,096,549
固定負債		
長期借入金	429,744	948,154
退職給付に係る負債	7,989	7,507
ポイント引当金	88,061	127,144
資産除去債務	44,907	60,739
その他	61,409	69,785
固定負債合計	632,112	1,213,331
負債合計	3,180,819	5,309,881
純資産の部		
株主資本		
資本金	768,385	768,385
資本剰余金	713,929	743,580
利益剰余金	2,609,227	3,188,545
自己株式	△97,907	△134,002
株主資本合計	3,993,634	4,566,509
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△20,825	△6,593
その他の包括利益累計額合計	△20,825	△6,593
非支配株主持分	129,797	163,053
純資産合計	4,102,606	4,722,969
負債純資産合計	7,283,425	10,032,850

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年5月1日 至 2020年4月30日)	当連結会計年度 (自 2020年5月1日 至 2021年4月30日)
売上高	15,730,294	19,597,064
売上原価	10,955,341	13,481,497
売上総利益	4,774,953	6,115,566
販売費及び一般管理費	4,044,914	5,115,131
営業利益	730,038	1,000,435
営業外収益		
受取利息及び配当金	164	161
為替差益	3,077	1,760
受取手数料	3,982	2,766
投資有価証券売却益	8,144	-
固定資産売却益	4,298	580
退職給付引当金戻入益	-	11,000
保険解約益	-	49,250
助成金収入	-	11,589
その他	5,226	16,402
営業外収益合計	24,894	93,511
営業外費用		
支払利息	2,296	5,955
固定資産除却損	-	2,363
障害者雇用納付金	1,720	3,020
違約金	2,980	-
その他	598	2,903
営業外費用合計	7,595	14,241
経常利益	747,337	1,079,705
特別損失		
投資有価証券評価損	-	21,708
減損損失	32,749	23,021
特別損失合計	32,749	44,729
税金等調整前当期純利益	714,588	1,034,975
法人税、住民税及び事業税	312,763	466,406
法人税等調整額	△4,149	△87,244
法人税等合計	308,614	379,161
当期純利益	405,973	655,814
非支配株主に帰属する当期純利益又は非支配株主に 帰属する当期純損失(△)	△2,029	5,810
親会社株主に帰属する当期純利益	408,002	650,003

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年5月1日 至 2020年4月30日)	当連結会計年度 (自 2020年5月1日 至 2021年4月30日)
当期純利益	405,973	655,814
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△7,467	18,504
その他の包括利益合計	△7,467	18,504
包括利益	398,506	674,318
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	399,655	672,780
非支配株主に係る包括利益	△1,149	1,538

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自2019年5月1日 至2020年4月30日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	768,385	712,345	2,269,475	△351	3,749,854
当期変動額					
新株の発行					-
剰余金の配当			△57,379		△57,379
親会社株主に帰属する当期純利益			408,002		408,002
自己株式の取得				△111,140	△111,140
自己株式の処分		1,611		13,584	15,195
連結子会社株式の取得による持分の増減		△27			△27
新規連結による減少高			△10,870		△10,870
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	1,584	339,752	△97,556	243,780
当期末残高	768,385	713,929	2,609,227	△97,907	3,993,634

	その他の包括利益累計額		新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	△6,102	△6,102	1,028	65,578	3,810,358
当期変動額					
新株の発行					-
剰余金の配当					△57,379
親会社株主に帰属する当期純利益					408,002
自己株式の取得					△111,140
自己株式の処分					15,195
連結子会社株式の取得による持分の増減					△27
新規連結による減少高					△10,870
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△14,723	△14,723	△1,028	64,218	48,467
当期変動額合計	△14,723	△14,723	△1,028	64,218	292,247
当期末残高	△20,825	△20,825	-	129,797	4,102,606

当連結会計年度(自2020年5月1日 至2021年4月30日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	768,385	713,929	2,609,227	△97,907	3,993,634
当期変動額					
新株の発行					-
剰余金の配当			△63,124		△63,124
親会社株主に帰属する当期純利益			<u>650,003</u>		<u>650,003</u>
自己株式の取得				△57,088	△57,088
自己株式の処分		4,130		20,993	25,123
連結子会社株式の取得による持分の増減		<u>25,521</u>			<u>25,521</u>
新規連結による減少高			<u>△7,562</u>		<u>△7,562</u>
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	<u>29,651</u>	<u>579,317</u>	△36,094	<u>572,874</u>
当期末残高	768,385	<u>743,580</u>	<u>3,188,545</u>	△134,002	<u>4,566,509</u>

	その他の包括利益累計額		新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	△20,825	△20,825	-	129,797	4,102,606
当期変動額					
新株の発行					-
剰余金の配当					△63,124
親会社株主に帰属する当期純利益					<u>650,003</u>
自己株式の取得					△57,088
自己株式の処分					25,123
連結子会社株式の取得による持分の増減					<u>25,521</u>
新規連結による減少高					<u>△7,562</u>
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	<u>13,872</u>	<u>13,872</u>	-	<u>33,256</u>	<u>47,128</u>
当期変動額合計	<u>13,872</u>	<u>13,872</u>	-	<u>33,256</u>	<u>620,003</u>
当期末残高	<u>△6,953</u>	<u>△6,953</u>	-	<u>163,053</u>	<u>4,722,609</u>

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年5月1日 至 2020年4月30日)	当連結会計年度 (自 2020年5月1日 至 2021年4月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	714,588	1,034,975
減価償却費	158,909	179,567
減損損失	32,749	23,021
のれん償却額	42,091	72,113
投資有価証券売却及び評価損益(△は益)	△8,144	21,708
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△8,703	△6,336
ポイント引当金の増減額(△は減少)	13,618	31,001
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△3,718	4,266
株式報酬引当金の増減額(△は減少)	23,297	74,401
その他の引当金の増減額(△は減少)	6,576	5,363
受取利息及び受取配当金	△164	△161
支払利息	2,296	5,955
保険解約益	-	△49,250
退職給付引当金戻入益	-	△11,000
助成金収入	-	△11,589
有形固定資産売却損益(△は益)	△4,298	51
固定資産除却損	-	2,363
売上債権の増減額(△は増加)	106,790	△598,765
たな卸資産の増減額(△は増加)	△299,075	△325,119
仕入債務の増減額(△は減少)	△83,178	539,852
前渡金の増減額(△は増加)	△29,104	△173,319
未払金の増減額(△は減少)	△113,285	88,009
未払消費税等の増減額(△は減少)	△19,854	47,638
未払費用の増減額(△は減少)	20,112	113,618
前受金の増減額(△は減少)	△53,085	259,412
その他	△69,759	△10,315
小計	428,657	1,317,464
利息及び配当金の受取額	164	161
利息及び保証料の支払額	△2,263	△5,861
保険の解約による収入	-	76,977
退職慰労金の支払額	-	△224,000
助成金の受取額	-	15,326
和解金の支払額	△11,433	-
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△281,483	△320,857
営業活動によるキャッシュ・フロー	133,641	859,209

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年5月1日 至 2020年4月30日)	当連結会計年度 (自 2020年5月1日 至 2021年4月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	-	△13,250
定期預金の払戻による収入	-	16,800
有形固定資産の取得による支出	△85,839	△133,235
有形固定資産の売却による収入	57,654	7,177
無形固定資産の取得による支出	△46,124	△175,647
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	-	△246,193
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	-	111,292
投資有価証券の取得による支出	△65,000	-
投資有価証券の売却による収入	33,144	-
敷金保証金の差入による支出	△66,492	△219,768
敷金保証金の回収による収入	1,924	31,676
その他	△4,948	△1,902
投資活動によるキャッシュ・フロー	△175,681	△623,051
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	-	60,000
短期借入金の返済による支出	△61,911	△65,085
長期借入れによる収入	600,000	670,000
長期借入金の返済による支出	△203,141	△581,886
リース債務の返済による支出	△4,686	△5,587
自己株式の取得による支出	△111,140	△57,088
自己株式取得のための預け金の増減額 (△は増加)	△89,824	89,830
非支配株主からの払込みによる収入	-	57,249
配当金の支払額	△57,417	△63,158
非支配株主への配当金の支払額	△1,604	△1,988
新株予約権の買入消却による支出	△1,028	-
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△1,467	△4,380
財務活動によるキャッシュ・フロー	67,779	97,906
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,601	25,907
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	28,340	359,971
現金及び現金同等物の期首残高	2,052,533	2,212,210
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	131,336	-
現金及び現金同等物の期末残高	2,212,210	2,572,182

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、商品・サービス別のセグメントから構成されており、「物販事業」、「店舗設計事業」及び「その他周辺ソリューション事業」の3つを報告セグメントとしております。

「物販事業」は、理美容室やエステティックサロン・ネイルサロン等の各種ビューティサロンで使用する理美容機器・化粧品等の仕入、販売を行っております。「店舗設計事業」は、店舗の内装工事等に関する設計・施工・監理を行っております。「その他周辺ソリューション事業」は、理美容室やビューティサロンに対する不動産仲介・開業支援・店舗リース・セミナー・保険事業等を行っております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部売上高及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度(自 2019年5月1日 至 2020年4月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	物販事業	店舗設計事業	その他周辺ソ リユーション 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	11,991,750	3,246,605	491,938	15,730,294	-	15,730,294
セグメント間の内部 売上高又は振替高	91,482	51,737	21,440	164,660	△164,660	-
計	12,083,233	3,298,342	513,379	15,894,955	△164,660	15,730,294
セグメント利益	611,974	190,755	45,576	848,306	△118,267	730,038

(注) 1. セグメント利益の調整額118,267千円には、セグメント間取引消去61,638千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△179,906千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

4 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

物販事業に属する連結子会社BEAUTY GARAGE SINGAPORE PTE. LTD. およびBEAUTY GARAGE MALAYSIA SDN. BHDに係るのれんについて、当初想定していた収益の達成に遅れが生じており、計画値の達成には時間を要すると判断したことから、32,749千円を減損損失として特別損失に計上しております。

当連結会計年度(自 2020年5月1日 至 2021年4月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	物販事業	店舗設計事業	その他周辺ソ リユーション 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	15,591,648	3,391,717	613,698	19,597,064	-	19,597,064
セグメント間の内部 売上高又は振替高	56,959	47,926	23,403	128,289	△ 128,289	-
計	15,648,608	3,439,643	637,101	19,725,353	△ 128,289	19,597,064
セグメント利益	<u>780,020</u>	213,608	81,736	<u>1,075,364</u>	△ 74,928	<u>1,000,435</u>

(注) 1. セグメント利益の調整額△74,928千円には、セグメント間取引消去91,936円、各報告セグメントに配分していない全社費用△166,864千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

4 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

物販事業に属する連結子会社台湾美麗平台股份有限公司 (BEAUTY GARAGE TAIWAN Inc.) に係るのれんについて、当初想定していた収益の達成に遅れが生じており、計画値の達成には時間を要すると判断したことから、23,021千円を減損損失として特別損失に計上しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年5月1日 至 2020年4月30日)	当連結会計年度 (自 2020年5月1日 至 2021年4月30日)
1株当たり純資産額※3	629.36 円	724.79 円
1株当たり当期純利益金額※2	64.48 円	103.42 円
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益金額※1	— 円	— 円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2019年5月1日 至 2020年4月30日)	当連結会計年度 (自 2020年5月1日 至 2021年4月30日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	408,002	650,003
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	408,002	650,003
普通株式の期中平均株式数(株)	6,327,570	6,284,846

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2020年4月30日)	当連結会計年度 (2021年4月30日)
純資産の部の合計額(千円)	4,102,606	4,722,969
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	129,797	163,053
(うち新株予約権(千円))	(—)	(—)
(うち非支配株主持分(千円))	(129,797)	(163,053)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	3,972,808	4,559,915
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式 の数(株)	6,312,420	6,291,330

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

【訂正後】



2021年4月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年6月11日

上場会社名 株式会社ビューティガレージ 上場取引所 東
 コード番号 3180 URL <https://www.beautygarage.co.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役CEO (氏名)野村 秀輝
 問合せ先責任者 (役職名)経営管理グループ統括責任者 (氏名)齋藤 高広 (TEL)03(6805)9785
 定時株主総会開催予定日 2021年7月29日 配当支払開始予定日 2021年7月30日
 有価証券報告書提出予定日 2021年7月30日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年4月期の連結業績(2020年5月1日~2021年4月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年4月期	19,597	24.6	1,001	37.1	1,080	44.6	654	60.4
2020年4月期	15,730	13.6	730	16.2	747	15.6	408	7.1
(注) 包括利益	2021年4月期		675百万円 (69.4%)		2020年4月期		398百万円 (4.7%)	

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年4月期	104.03	-	15.3	12.5	5.1
2020年4月期	64.48	-	10.5	10.6	4.6

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年4月期	10,043	4,733	45.5	727.08
2020年4月期	7,283	4,102	55.0	629.36
(参考) 自己資本	2021年4月期 4,574百万円		2020年4月期 3,993百万円	

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年4月期	859	△623	97	2,572
2020年4月期	133	△175	67	2,212

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年4月期	-	-	-	10.00	10.00	63	15.5	1.6
2021年4月期	-	-	-	14.00	14.00	88	13.5	2.1
2022年4月期(予想)	-	-	-	16.00	16.00		12.6	

3. 2022年4月期の連結業績予想(2021年5月1日~2022年4月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	10,846	29.6	515	46.0	513	41.9	315	59.9	50.22
通期	23,061	17.7	1,301	30.0	1,304	20.8	795	21.6	126.52

【訂正後】

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 有
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規4社（社名）株式会社ビュートピア、株式会社日本アイラッシュ総研※注、MATSUKEN VIETNAM CO., LTD、株式会社和楽

除外—社（社名）—

※注 株式会社松風と株式会社まつげエクステンション研究所は2021年4月1日付で合併し、株式会社日本アイラッシュ総研となりました。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年4月期	6,376,000株	2020年4月期	6,376,000株
② 期末自己株式数	2021年4月期	84,670株	2020年4月期	63,580株
③ 期中平均株式数	2021年4月期	6,291,627株	2020年4月期	6,327,570株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染拡大により緊急事態宣言が3度発出され、それに伴い経済活動の自粛等の影響により、企業の業績や景況感が悪化し非常に厳しい状況で推移しました。

美容業界におきましても、コロナ禍での活動制限や外出自粛等による顧客の不安心理増大に伴う来店数減少や結婚式や成人式等ハレの日需要の減少といった厳しい状況が続きました。

そのような状況下、当社グループでは、期初は業界全体の厳しい状況からマイナス影響を受けてはいたものの、競争力強化に伴い顧客基盤が大きく拡大したことやWEBマーケティング施策の成果に加え、コロナ禍のなかで業界流通のデジタル化が加速したこともあって、通期では業績を大きく伸長することが出来ました。

この結果、当連結会計年度における売上高は19,597,064千円（前年同期比24.6%増）、売上総利益は6,116,347千円（前年同期比28.1%増）、営業利益は1,001,216千円（前年同期比37.1%増）、経常利益は1,080,484千円（前年同期比44.6%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は654,505千円（前年同期比60.4%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

①物販事業

物販事業におきましては、インターネット通販サイト「BEAUTY GARAGE Online Shop」、全国主要都市のショールーム&ストア+法人営業チーム、カタログ通販誌「BG STYLE」および各グループ会社を通して、理美容機器や化粧品・消耗品等のプロ向け美容商材を、国内外の理美容室、エステサロン、リラクゼーションサロン、ネイルサロン、アイラッシュサロン向けに提供しております。

当連結会計年度におきましては、ECサイトのUI/UXの着実な改善と進化を継続することに加えて、第2物流拠点となる西日本ディストリビューションセンターの開設、化粧品・美容材料専門店「ビューティガレージEXPRESSストア」のオープン等の投資を実行し、アクティブユーザー数の増加と利用頻度向上施策に注力してまいりました。また新型コロナウイルス感染拡大の中、美容業界全体で遅れていたデジタル化が促進した影響もあって新規会員獲得数や注文件数、ECサイトへのアクセス数も大きく増加致しました。

この結果、EC売上高が前年同期比33.1%増（物販売上構成比78.2%）と伸長した貢献が大きく、物販事業全体としての売上高は15,591,648千円（前年同期比30.0%増）、セグメント利益は780,801千円（前年同期比27.6%増）となりました。

②店舗設計事業

店舗設計事業におきましては、連結子会社である株式会社タフデザインプロダクトにより東京・金沢・名古屋・大阪・福岡において店舗設計・工事施工管理を提供しております。

トレンドを捉えたデザイン性の高い店舗設計デザインの提案を行うことで独立開業を目指す顧客から高い支持を得ており、新規開業顧客に加えて、大手チェーン店本部からの受注も獲得してまいりました。当連結会計年度におきましては、期初より新型コロナウイルス感染拡大の影響で美容サロン等の新規出店の中止・延期が相次いでいたことで、案件数が大幅に減少しておりましたが、第2四半期以降においては、前年を上回るペースで回復し、特に第4四半期は大型案件を多数受注出来たこともあり、四半期売上高で過去最高を記録することが出来ました。

この結果、当事業の売上高は3,391,717千円（前年同期比4.5%増）、セグメント利益は213,608千円（前年同期比12.0%増）となりました。

③その他周辺ソリューション事業

その他周辺ソリューション事業におきましては、ビューティサロンの開業と経営に必要なサポートとして開業プロデュース、居抜き物件仲介、決済支援、集客支援、講習・アカデミー、損害保険、システム導入支援、店舗リース、M&A仲介等の各種ソリューションサービスを、各種専門WEBサイトと全国主要都市のショールームを通して提供しております。

当連結会計年度におきましては、美容サロン事業者に特化した年会費無料のビジネスカード「サロンプロフェッショナルカード」を発行いたしました。各種サービスのうち、店舗リース、居抜き物件仲介、決済支援が堅調に伸長したことにより、当事業の売上高は613,698千円（前年同期比24.8%増）、セグメント利益は81,736千円（前年同期比79.3%増）となっております。

(2) 当期の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて30.1%増加し、7,805,676千円となりました。これは、主に現金預金、売上債権及びたな卸資産の増加によるものであります。

(固定資産)

固定資産は、前連結会計年度末に比べて74.4%増加し、2,237,608千円となりました。これは、新規連結子会社のれんの計上及び有形固定資産の増加があったことによるものであります。

(流動負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて60.7%増加し、4,096,497千円となりました。これは、主に仕入債務、前受金、1年内返済予定の長期借入金の増加によるものであります。

(固定負債)

固定負債は、前連結会計年度末に比べて91.9%増加し、1,213,331千円となりました。これは、主に長期借入金の増加によるものであります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて15.4%増加し、4,733,456千円となりました。これは、主に自己株式の取得による減少36,094千円と配当金の支払に伴い利益剰余金の減少63,124千円があったものの、親会社株主に帰属する当期純利益の計上に伴い利益剰余金の増加654,505千円があったことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ359,971千円増加し、2,572,182千円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、859,207千円（前年同期は133,641千円の資金増加）となりました。これは、主に売上債権の増加、たな卸資産の増加及び法人税等の支払額があったものの、税金等調整前当期純利益の計上、減価償却費の計上及び仕入債務の増加があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、623,051千円（前年同期は175,681千円の資金減少）となりました。これは、主に有形固定資産の取得による支出、無形固定資産の取得による支出及び連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、97,906千円（前年同期は67,779千円の資金増加）となりました。これは、主に借入債務の返済による支出及び自己株式の取得による支出があったものの、長期借入れによる収入があったことによるものであります。

(4) 今後の見通し

今後の美容業界におきましては、新型コロナウイルスの影響継続が見込まれることから、引き続き厳しい状況が予想されます。その一方、業界全体で一層のデジタル化の促進が見込まれ、当社グループとしても成長を大きく加速させる好機となってくるものと考えております。

そのような見通しの中で、当社はBtoB美容業界向けECプラットフォームとしての圧倒的な地位を確立することで、2025年4月期までに「国内美容ディーラーTOPの地位を獲得する」ことを目指してまいりたいと考えております。

2022年4月期は、ECサイトのUI/UXのさらなる進化・改善を進めていくとともに、物流面、営業面、サービス面等の一層の強化を行うことでロイヤル顧客の拡大と一顧客あたりの年間ご利用額の増加を目指してまいります。

以上により、2022年4月期の連結業績予想につきましては、売上高23,061百万円（前年同期比117.7%）、営業利益1,301百万円（前年同期比130.0%）、経常利益1,304百万円（前年同期比120.8%）、親会社に帰属する当期純利益795百万円（前年同期比121.6%）を見込んでおります。

なお、上記に記載した将来に関する記述につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて判断したものでありますが、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(5) 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引先等であるため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年4月30日)	当連結会計年度 (2021年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,212,210	2,586,132
受取手形及び売掛金	1,067,317	1,817,123
リース投資資産	139,650	165,991
営業投資有価証券	154,521	195,265
商品及び製品	1,756,880	2,124,713
仕掛品	111,734	188,126
前渡金	297,590	474,736
その他	268,650	267,068
貸倒引当金	△8,265	△13,481
流動資産合計	6,000,291	7,805,676
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	159,903	231,286
機械及び装置（純額）	40,312	48,680
車両運搬具（純額）	1,749	5,092
工具器具備品（純額）	54,971	56,174
土地	38,099	171,353
その他	4,547	10,223
有形固定資産合計	299,585	522,812
無形固定資産		
ソフトウェア	271,962	316,099
のれん	94,396	458,356
その他	3,806	29,224
無形固定資産合計	370,165	803,681
投資その他の資産		
投資有価証券	103,060	81,351
繰延税金資産	128,023	226,675
敷金保証金	341,456	555,791
その他	40,843	47,296
投資その他の資産合計	613,383	911,115
固定資産合計	1,283,134	2,237,608
資産合計	7,283,425	10,043,285

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年4月30日)	当連結会計年度 (2021年4月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,176,474	1,835,901
短期借入金	15,000	10,000
1年内返済予定の長期借入金	283,316	382,108
未払金	188,925	286,437
未払法人税等	192,241	340,732
前受金	187,747	447,159
賞与引当金	57,748	68,751
製品保証引当金	8,052	12,319
受注損失引当金	7,116	6,959
株主優待引当金	3,300	3,300
株式報酬引当金	20,149	69,426
その他	408,636	633,402
流動負債合計	2,548,707	4,096,497
固定負債		
長期借入金	429,744	948,154
退職給付に係る負債	7,989	7,507
ポイント引当金	88,061	127,144
資産除去債務	44,907	60,739
その他	61,409	69,785
固定負債合計	632,112	1,213,331
負債合計	3,180,819	5,309,829
純資産の部		
株主資本		
資本金	768,385	768,385
資本剰余金	713,929	745,871
利益剰余金	2,609,227	3,200,609
自己株式	△97,907	△134,002
株主資本合計	3,993,634	4,580,863
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△20,825	△6,593
その他の包括利益累計額合計	△20,825	△6,593
非支配株主持分	129,797	159,185
純資産合計	4,102,606	4,733,456
負債純資産合計	7,283,425	10,043,285

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年5月1日 至 2020年4月30日)	当連結会計年度 (自 2020年5月1日 至 2021年4月30日)
売上高	15,730,294	19,597,064
売上原価	10,955,341	13,480,716
売上総利益	4,774,953	6,116,347
販売費及び一般管理費	4,044,914	5,115,131
営業利益	730,038	1,001,216
営業外収益		
受取利息及び配当金	164	110
為替差益	3,077	1,760
受取手数料	3,982	2,766
投資有価証券売却益	8,144	-
固定資産売却益	4,298	580
退職給付引当金戻入益	-	11,000
保険解約益	-	49,250
助成金収入	-	11,589
その他	5,226	16,451
営業外収益合計	24,894	93,509
営業外費用		
支払利息	2,296	5,955
固定資産除却損	-	2,363
障害者雇用納付金	1,720	3,020
違約金	2,980	-
その他	598	2,903
営業外費用合計	7,595	14,241
経常利益	747,337	1,080,484
特別損失		
投資有価証券評価損	-	21,708
減損損失	32,749	23,021
特別損失合計	32,749	44,729
税金等調整前当期純利益	714,588	1,035,754
法人税、住民税及び事業税	312,763	466,406
法人税等調整額	△4,149	△87,244
法人税等合計	308,614	379,161
当期純利益	405,973	656,593
非支配株主に帰属する当期純利益又は非支配株主に 帰属する当期純損失(△)	△2,029	2,087
親会社株主に帰属する当期純利益	408,002	654,505

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年5月1日 至 2020年4月30日)	当連結会計年度 (自 2020年5月1日 至 2021年4月30日)
当期純利益	405,973	<u>656,593</u>
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△7,467	18,504
その他の包括利益合計	△7,467	18,504
包括利益	398,506	<u>675,097</u>
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	399,655	<u>677,282</u>
非支配株主に係る包括利益	△1,149	<u>△2,185</u>

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自2019年5月1日 至2020年4月30日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	768,385	712,345	2,269,475	△351	3,749,854
当期変動額					
剰余金の配当			△57,379		△57,379
親会社株主に帰属する当期純利益			408,002		408,002
自己株式の取得				△111,140	△111,140
自己株式の処分		1,611		13,584	15,195
連結子会社株式の取得による持分の増減		△27			△27
新規連結による減少高			△10,870		△10,870
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	-	-	-	-	-
当期変動額合計	-	1,584	339,752	△97,556	243,780
当期末残高	768,385	713,929	2,609,227	△97,907	3,993,634

	その他の包括利益累計額		新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	△6,102	△6,102	1,028	65,578	3,810,358
当期変動額					
剰余金の配当					△57,379
親会社株主に帰属する当期純利益					408,002
自己株式の取得					△111,140
自己株式の処分					15,195
連結子会社株式の取得による持分の増減					△27
新規連結による減少高					△10,870
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△14,723	△14,723	△1,028	64,218	48,467
当期変動額合計	△14,723	△14,723	△1,028	64,218	292,247
当期末残高	△20,825	△20,825	-	129,797	4,102,606

当連結会計年度(自2020年5月1日 至2021年4月30日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	768,385	713,929	2,609,227	△97,907	3,993,634
当期変動額					
剰余金の配当			△63,124		△63,124
親会社株主に帰属する当期純利益			<u>654,505</u>		<u>654,505</u>
自己株式の取得				△57,088	△57,088
自己株式の処分		4,130		20,993	25,123
連結子会社株式の取得による持分の増減		<u>27,812</u>			<u>27,812</u>
新規連結による減少高					-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	-	-	-	-	-
当期変動額合計	-	<u>31,942</u>	<u>591,381</u>	△36,094	<u>587,229</u>
当期末残高	768,385	<u>745,871</u>	<u>3,200,609</u>	△134,002	<u>4,580,863</u>

	その他の包括利益累計額		新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	△20,825	△20,825	-	129,797	4,102,606
当期変動額					
剰余金の配当					△63,124
親会社株主に帰属する当期純利益					<u>654,505</u>
自己株式の取得					△57,088
自己株式の処分					25,123
連結子会社株式の取得による持分の増減					<u>27,812</u>
新規連結による減少高		-		-	-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	<u>14,232</u>	<u>14,232</u>	-	<u>29,388</u>	<u>43,620</u>
当期変動額合計	<u>14,232</u>	<u>14,232</u>	-	<u>29,388</u>	<u>630,850</u>
当期末残高	△6,593	△6,593	-	159,185	<u>4,733,456</u>

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年5月1日 至 2020年4月30日)	当連結会計年度 (自 2020年5月1日 至 2021年4月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	714,588	1,035,754
減価償却費	158,909	179,567
減損損失	32,749	23,021
のれん償却額	42,091	72,113
投資有価証券売却及び評価損益(△は益)	△8,144	21,708
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△8,703	△6,336
ポイント引当金の増減額(△は減少)	13,618	31,001
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△3,718	4,266
株式報酬引当金の増減額(△は減少)	23,297	74,401
その他の引当金の増減額(△は減少)	6,576	5,363
受取利息及び受取配当金	△164	△110
支払利息	2,296	5,955
保険解約益	-	△49,250
退職給付引当金戻入益	-	△11,000
助成金収入	-	△11,589
有形固定資産売却損益(△は益)	△4,298	51
固定資産除却損	-	2,363
売上債権の増減額(△は増加)	106,790	△598,765
たな卸資産の増減額(△は増加)	△299,075	△325,848
仕入債務の増減額(△は減少)	△83,178	539,795
前渡金の増減額(△は増加)	△29,104	△173,319
未払金の増減額(△は減少)	△113,285	88,009
未払消費税等の増減額(△は減少)	△19,854	47,638
未払費用の増減額(△は減少)	20,112	113,618
前受金の増減額(△は減少)	△53,085	259,412
その他	△69,759	△10,315
小計	428,657	1,317,512
利息及び配当金の受取額	164	110
利息及び保証料の支払額	△2,263	△5,861
保険の解約による収入	-	76,977
退職慰労金の支払額	-	△224,000
助成金の受取額	-	15,326
和解金の支払額	△11,433	-
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△281,483	△320,857
営業活動によるキャッシュ・フロー	133,641	859,207

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年5月1日 至 2020年4月30日)	当連結会計年度 (自 2020年5月1日 至 2021年4月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	-	△13,250
定期預金の払戻による収入	-	16,800
有形固定資産の取得による支出	△85,839	△133,235
有形固定資産の売却による収入	57,654	7,177
無形固定資産の取得による支出	△46,124	△175,647
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	-	△246,193
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	-	111,292
投資有価証券の取得による支出	△65,000	-
投資有価証券の売却による収入	33,144	-
敷金保証金の差入による支出	△66,492	△219,768
敷金保証金の回収による収入	1,924	31,676
その他	△4,948	△1,902
投資活動によるキャッシュ・フロー	△175,681	△623,051
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	-	60,000
短期借入金の返済による支出	△61,911	△65,085
長期借入れによる収入	600,000	670,000
長期借入金の返済による支出	△203,141	△581,886
リース債務の返済による支出	△4,686	△5,587
自己株式の取得による支出	△111,140	△57,088
自己株式取得のための預け金の増減額 (△は増加)	△89,824	89,830
非支配株主からの払込みによる収入	-	57,249
配当金の支払額	△57,417	△63,158
非支配株主への配当金の支払額	△1,604	△1,988
新株予約権の買入消却による支出	△1,028	-
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△1,467	△4,380
財務活動によるキャッシュ・フロー	67,779	97,906
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,601	25,909
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	28,340	359,971
現金及び現金同等物の期首残高	2,052,533	2,212,210
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	131,336	-
現金及び現金同等物の期末残高	2,212,210	2,572,182

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、商品・サービス別のセグメントから構成されており、「物販事業」、「店舗設計事業」及び「その他周辺ソリューション事業」の3つを報告セグメントとしております。

「物販事業」は、理美容室やエステティックサロン・ネイルサロン等の各種ビューティサロンで使用する理美容機器・化粧品等の仕入、販売を行っております。「店舗設計事業」は、店舗の内装工事等に関する設計・施工・監理を行っております。「その他周辺ソリューション事業」は、理美容室やビューティサロンに対する不動産仲介・開業支援・店舗リース・セミナー・保険事業等を行っております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部売上高及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度(自 2019年5月1日 至 2020年4月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	物販事業	店舗設計事業	その他周辺ソ リユーション 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	11,991,750	3,246,605	491,938	15,730,294	-	15,730,294
セグメント間の内部 売上高又は振替高	91,482	51,737	21,440	164,660	△164,660	-
計	12,083,233	3,298,342	513,379	15,894,955	△164,660	15,730,294
セグメント利益	611,974	190,755	45,576	848,306	△118,267	730,038

(注) 1. セグメント利益の調整額118,267千円には、セグメント間取引消去61,638千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△179,906千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

4 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

物販事業に属する連結子会社BEAUTY GARAGE SINGAPORE PTE. LTD. およびBEAUTY GARAGE MALAYSIA SDN. BHDに係るのれんについて、当初想定していた収益の達成に遅れが生じており、計画値の達成には時間を要すると判断したことから、32,749千円を減損損失として特別損失に計上しております。

当連結会計年度(自 2020年5月1日 至 2021年4月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	物販事業	店舗設計事業	その他周辺ソ リユーション 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	15,591,648	3,391,717	613,698	19,597,064	-	19,597,064
セグメント間の内部 売上高又は振替高	56,959	47,926	23,403	128,289	△ 128,289	-
計	15,648,608	3,439,643	637,101	19,725,353	△ 128,289	19,597,064
セグメント利益	<u>780,801</u>	213,608	81,736	<u>1,076,145</u>	△ 74,928	<u>1,001,216</u>

(注) 1. セグメント利益の調整額△74,928千円には、セグメント間取引消去91,936円、各報告セグメントに配分していない全社費用△166,864千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

4 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

物販事業に属する連結子会社台湾美麗平台股份有限公司 (BEAUTY GARAGE TAIWAN Inc.) 等に係るのれんについて、当初想定していた収益の達成に遅れが生じており、計画値の達成には時間を要すると判断したことから、23,021千円を減損損失として特別損失に計上しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年5月1日 至 2020年4月30日)	当連結会計年度 (自 2020年5月1日 至 2021年4月30日)
1株当たり純資産額※3	629.36 円	727.08 円
1株当たり当期純利益金額※2	64.48 円	104.03 円
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益金額※1	— 円	— 円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2019年5月1日 至 2020年4月30日)	当連結会計年度 (自 2020年5月1日 至 2021年4月30日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	408,002	654,505
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	408,002	654,505
普通株式の期中平均株式数(株)	6,327,570	6,291,627

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2020年4月30日)	当連結会計年度 (2021年4月30日)
純資産の部の合計額(千円)	4,102,606	4,733,456
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	129,797	159,185
(うち新株予約権(千円))	(—)	(—)
(うち非支配株主持分(千円))	(129,797)	(159,185)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	3,972,808	4,574,270
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式 の数(株)	6,312,420	6,291,330

(重要な後発事象)

該当事項はありません。